

## 第20回世界湖沼会議(7/21～25:豪州ブリスベン)に係る参加報告について

### 1 会議結果概要

- (1) 「世界湖沼の日(8月27日)」制定後、初の世界湖沼会議がオーストラリア・ブリスベンで開催された。政府関係者、国際機関、研究者、NGO、市民団体など、約20か国から約300名の参加があった。
- (2) 閉会式では、会議の成果文書として、「ポストSDGs」の枠組みに湖沼を具体的な指標として含めることなどを目指す「ブリスベン宣言」の案が発表された。この宣言は今後もオンラインで意見を広く集め、「世界湖沼の日(8月27日)」を前に正式決定される予定。

#### 【ブリスベン宣言案 要旨】

- 2023年に国連環境総会で全会一致採択された「持続可能な湖沼管理決議」および2024年に国連総会で採択された「世界湖沼の日」の制定を受け、持続可能な開発、気候変動対策、生物多様性保全の全ての行動に「湖沼」の視点が組み込まれるべきである。
- 「ポストSDGs」の枠組みに湖沼を具体的な指標として含めることなどを目指す。
- 湖沼とその流入・流出する川や地下水を含む流域の統合的管理が引き続き促進されるべきである。
- 民間部門(企業)に対しては、湖沼への環境影響の公表、持続可能な取組について呼びかける。
- 湖沼は、私たちの価値観と未来のビジョンを映す鏡。全ての湖沼は重要であり、行動の時は今である。

- (3) 次回の第21回世界湖沼会議(2027年)は、ヴィクトリア湖やタンガニーカ湖があるタンザニアのダルエスサラームで開催されることが発表された。



#### 【閉会式】

(左)タンザニアでの第21回世界湖沼会議開催を発表するタンザニア国立水研究所アダム・O・カリヤ所長  
(右)会場の様子

## 2 本県からの発信成果

- (1) 本県からは、目片県議会議長、岸本副知事、関係課(琵琶湖保全再生課、農政課)職員が開会式や分科会、県主催「世界湖沼の日」スペシャルセッション、国際コロキウム、ポスターセッションで、「世界湖沼の日」の意義や、琵琶湖の保全再生・MLGsなどの取組について発信を行うとともに、「世界湖沼の日」制定を契機とした国際的な連携の呼びかけを行った。



### 【開会式】

(左)岸本副知事:ハイレベル・パネルディスカッション

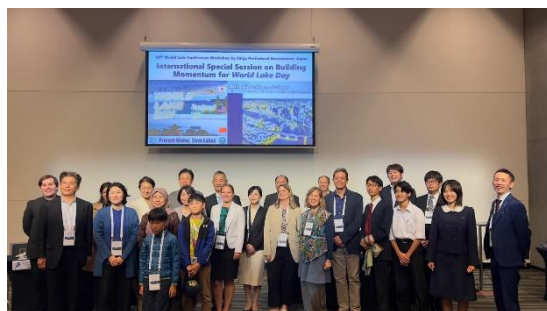
(右)目片議長:「世界湖沼の日」に向けたハイレベル・メッセージ



### 【分科会発表】

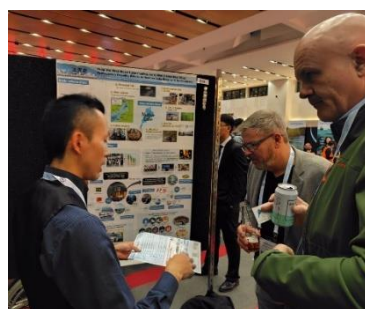
(左)農政課:世界農業遺産「琵琶湖システム」に関する取組

(右)琵琶湖保全再生課:琵琶湖の保全再生に関する取組



### 【「世界湖沼の日」スペシャルセッション】

参加国等:国連地域開発センター、インドネシア、日本(環境省)、アメリカ ミシガン州、オーストラリア クイーンズランド州、中国 湖南省、ブラジル リオグランデ・ド・スール州、ニカラグア マナグア市



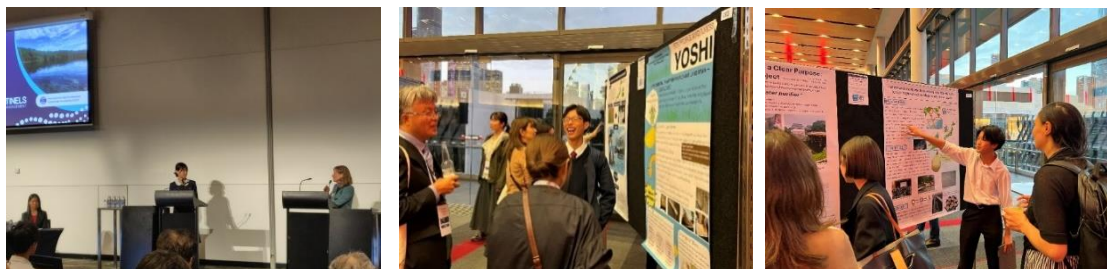
### 【国際コロキウム発表】

(左)琵琶湖保全再生課:MLGsに関する取組

### 【ポスターセッション発表】

(右)秋田県、茨城県、長野県、鳥取県および島根県との6県連携発表

- (2) 本県が初めて現地に高校生を3名派遣した(膳所、彦根東、立命館守山)。ユースセッションやポスターセッションに参加し、自らが取り組む湖沼保全活動の事例共有を通じて若者の交流が図られ、互いに学び合う機会となった。また、本県から自主参加で小・中・高・大学生 21 名が会議に参加した。



【派遣高校生のユースセッションおよびポスターセッションでの発表の様子】

### ～派遣高校生の感想～

#### <彦根東高校 浅野 はな さん>

世界湖沼会議に参加したことで、新しいものの見方、たくさんの幅広い知識を持った専門家の方々など、様々なものに触れることができました。普段勉強していることとは全く異なる、それぞれの専門家の方々のプレゼンテーションはこの世界湖沼会議に出ることがなければ、触れることはできなかっただろうと思います。

また、琵琶湖の保全活動に関しても私の知らないことがたくさん発表されており、より多くの高校生に知ってもらうことで、若い世代の湖沼への関心が高まるのではないかと感じました。このような貴重な経験をさせていただくことができ、本当にありがとうございました。

#### <膳所高校 牧 蒼太朗 さん>

自分のポスターセッションでは、実際に現地に参加することで得られたものが沢山ありました。質疑応答や意見交換が楽しかったです。分科会や基調講演で様々な分野の専門家の発表を拝聴したのはとても良い経験になりました。食事や休憩時間に頑張って色んな人に話しかけて、沢山友達ができ嬉しかったです。

現地での5日間は毎日がおどろくような発見の連続でとても勉強になりました。今回の学びや反省を活かし、次回も絶対に参加したいです。

#### <立命館守山高校 中川 瑛太 さん>

世界湖沼会議に参加したことによって、私の自己認識は大きく変わりました。世界各国から集まった湖沼の専門家や研究者のお話を聞いて、湖の価値やそれを保護するために私たちが具体的なアクションを起こさなければいけないことを知りました。また、各国のユースと交流した際は、私とほとんど年齢が変わらないにも関わらず本格的なプロジェクト・研究を進めており、私も「いま」から何かを変えたいと思うようになりました。